

JFEスチール株式会社東日本製鉄所京浜地区の 土地利用に係る基本的な考え方を取りまとめました

川崎市では、JFEスチール株式会社東日本製鉄所京浜地区の高炉等休止（令和5年9月予定）により扇島及び周辺地区に新たに生まれる約400ヘクタールの広大な土地について、土地利用転換の取組を進めています。

このたび、扇島地区におけるカーボンニュートラルの拠点や首都圏防災を支える拠点などの形成に向けた機能導入・ゾーニングなどを具体化するとともに、周辺地区におけるリサイクル拠点や交通結節機能などの導入機能候補を整理した「基本的な考え方」を取りまとめましたので、広く皆様にお知らせします。

1 土地利用に係る基本的な考え方とは

土地利用の方向性や導入機能等の基本的な考え方を取りまとめたもので、この考え方を、国をはじめとしたステークホルダーと共有し、具体的な調整を進めていきます。

2 土地利用に係る基本的な考え方の概要[※]（詳細は別紙参照）

●扇島地区の土地利用の方向性

- 1 カーボンニュートラルを先導
- 2 首都圏の強靱化を実現
- 3 新たな価値や革新的技術を創造
- 4 未来を体験できるフィールドの創出
- 5 常に進化するスーパーシティを形成

扇島地区については、原料ヤードの一部及び大水深バースのエリアを「先導エリア」として、令和12年度までの利用開始を目指して、先行して整備を進めることとし、水素の受入基地等のカーボンニュートラルの拠点や、

港湾物流・高度物流拠点の形成に向けた機能・ゾーニングイメージなどの具体化を図りました。

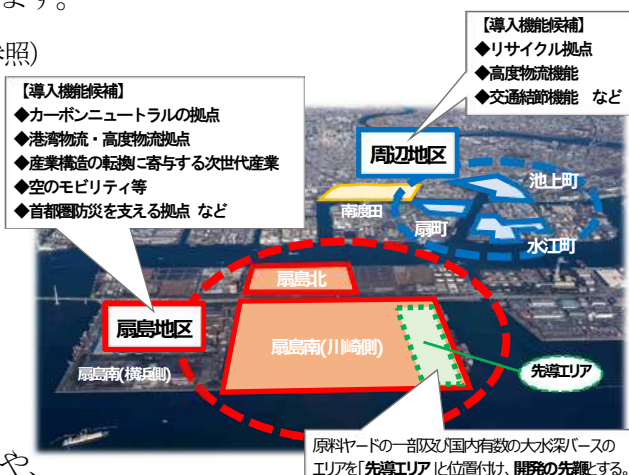
また先導エリア以外については、段階的整備を基本に、産業構造の転換に寄与する次世代産業、空のモビリティ等、首都圏防災を支える拠点などの導入機能候補を整理しています。

●周辺地区の土地利用の方向性

水江町・扇町及び池上町地区（以下「周辺地区」）についても、土地利用の方向性を「リサイクルをはじめとする産業の集積を活かした、臨海部の持続的発展への寄与」と整理しており、プラスチック等のリサイクル拠点、最新技術等を活用した高度物流機能、基幹的な交通結節機能などの導入機能候補を整理しています。

●基盤整備の考え方

交通アクセスなどの基盤については段階的な整備を基本として、扇島地区における令和12年度までの一部土地利用開始に向けた首都高速湾岸線の出入口整備や一般道整備などの調整を進めていきます。



3 今後の予定

本基本的な考え方に基づいて、国の重要政策との連動に向けた関係省庁との集中的な調整や、具体的な機能導入に向けた民間事業者との協議等を重ね、高炉等休止までに土地利用方針を策定するとともに、カーボンニュートラルの拠点形成をはじめ、扇島地区において令和12年度までに一部土地利用を開始するなど、土地利用転換の早期実現を図ってまいります。

◇ 記事の掲載等にあたって、本市が所有する写真が必要な場合は、下記の間合せ先まで御連絡ください。

【間合せ先】

川崎市 臨海部国際戦略本部 戦略拠点推進室
担当 坂本 / 電話 044-200-0253